

平成 22 年 8 月 16 日

国土交通省海事局

ホルムズ海峡タンカー事故原因調査委員会の開催について

7 月 28 日にホルムズ海峡で発生したタンカーの事故は、我が国の原油輸送量の 8 割強が通航する海峡で発生した事故であり、我が国海上輸送に対する脅威となる可能性を有しています。このため、我が国の安定的な海上輸送の確保の観点から、当省が中心となって、商船三井及び関係省庁の協力を得ながら事故原因の調査を進めています。

事故原因の検討を行うため、「ホルムズ海峡タンカー事故原因調査委員会」を設置し第 1 回委員会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

日時：平成 22 年 8 月 18 日（水） 10:00～12:00

場所：国土交通省 4 階特別会議室

## 【委員会の構成】

委員	横浜国立大学大学院工学研究院教授	角 洋一
〃	（独）海上技術安全研究所海難事故解析センター長	田村 兼吉
〃	防衛省技術研究本部技術顧問	藤原 修三
〃	消防庁消防大学校消防研究センター研究統括官	松原 美之
関係省庁	内閣官房	
〃	警察庁	
〃	外務省	
〃	防衛省	
〃	海上保安庁	
〃	運輸安全委員会	
事務局	国土交通省海事局安全・環境政策課長	坂下 広朗
〃	〃 海事局総務課危機管理室長	元野 一生

※ 第 1 回委員会の取材について

会議は非公開とさせていただきますが、カメラ撮りは、開会挨拶までは可能とします。  
希望される方は事前に下記までご連絡下さい。

※ 調査過程において、事実関係が明らかとなった場合、発表することとします。

問合せ先：国土交通省海事局

（代表）03-5253-8111

安全環境政策課（直通）03-5253-8631

専門官 大西（内線43-533）

係員 先光（内線43-545）